

製品名: HNRNPA0 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03915**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質を含む液体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:31 kDa;Observed MW: 32,34 kDa

抗原情報

遺伝子名	HNRNPA0
別名	HNRPA0
遺伝子 ID	10949.0
SwissProt ID	Q13151
免疫原	ヒト HNRNPA0 の合成ペプチド

背景

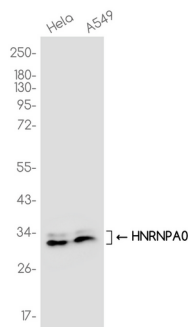
この遺伝子は、普遍的に発現する異種核リボ核タンパク質 (hnRNP) の A/B サブファミリーに属します。hnRNP は RNA 結合タンパ

ク質であり、異種核 RNA (hnRNA) と複合体を形成します。これらのタンパク質は核内の pre-mRNA と関連しており、pre-mRNA のプロセッシングや mRNA の代謝・輸送の他の側面に影響を及ぼすと考えられています。すべての hnRNP は核内に存在しますが、一部は核と細胞質の間を往復しているようです。hnRNP タンパク質はそれぞれ異なる核酸結合特性を有しています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、RNA に結合する準 RRM ドメインの 2 つの繰り返しと、それに続くグリシンに富む C 末端を有しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



HNRNPA0 抗体を使用した HeLa、A549 溶解物中の HNRNPA0 のウエスタンブロット分析。